

NHK交響楽団 公演
キンボー イシイ 指揮
ふくまこうたろう ピアノ

実施び 2024 年 11 月 4 日 月曜の休日
14 時から15時45分まで 途中20分の休憩あり
会場 埼玉会館 大ホール

これは、読み上げ対応用の文字プログラムです。

主催：公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団
後援：さいたま市、NHK さいたま放送局
助成：文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化
推進事業） 独立行政法人日本芸術文化振興会

プログラム

13時20分から13時35分まで 指揮者キンボーイシイによる
プレコンサートトーク

前半

ウェーバー作曲 ベルリオーズ編曲 : 舞踏への勧誘、作品 65

ショパン作曲 : ポーランドの民謡による大幻想曲、作品 13
ピアノ演奏 ふくまこうたろう

リスト作曲 : 死の舞踏、サール番号 126
ピアノ演奏 ふくまこうたろう

休憩 20分 はいります

後半

ビゼー作曲 : カルメン組曲 キンボーイシイ版

- 1、闘牛士
- 2、前奏曲
- 3、衛兵の交代
- 4、アラゴネーズ
- 5、ハバネラ
- 6、アルカラの竜騎兵
- 7、間奏曲
- 8、密輸入者の行進
- 9、闘牛士の歌
- 10、セギディーリャ

11、ロマの踊り

プログラム終わり

出演は

指揮 キンボーイシイ

ピアノ ふくま こうたろう

管弦楽 NHK 交響楽団

コンサートマスター ながはら こうた

出演者一覧終わり

曲目解説:しばた かつひこ

ウェーバー作曲(ベルリオーズ編曲):舞踏への勧誘、作品65

ドイツ初期ロマン派の代表格 カール マリア フォン ウェーバー(1786年生まれ1826年没)の、歌劇《まだんの射手》と並ぶ有名作。元々は「華麗なるロンド」と題したピアノ曲で、1819 年に作曲され、妻カロリーネに捧げられた。しかし一般に広まったのは、フランスの革命的作曲家エクトール ベルリオーズ(1803年生まれ1869年没)が管弦楽用に編曲してからのこと。「舞踏会で女性にダンスを申し込み、華やかなワルツを踊った後、別れを告げる」といった内容が描かれており、最初と最後(盛大な終結の後に出てくるので要注意)に奏されるチェロ独奏は男性の語りかけを意味している。また、序奏、複数のワルツ、コーダという構成は、ウィンナワルツにも影響を与えた。

ショパン作曲：ポーランドの民謡による大幻想曲、作品13

ポーランド生まれの“ピアノの詩人”、フレデリックショパン（1810年生まれ1849年没）は、2つのピアノ協奏曲の他にピアノと管弦楽のための作品を4曲作曲しており、こうした協奏作品のほとんどがポーランドにいた20歳までに書かれている。

本作はその第2作。シューマンの激賞で名高い、『「お手をどうぞ」の主題による変奏曲』に続いて、主に1828年に作曲され、1830年3月ワルシャワにてショパン自身のピアノにより初演された。なおショパンは同年10月の母国を去る前の告別演奏会でも、初演のピアノ協奏曲第1番と共に本作を取り上げている。

曲は、序奏と3部で構成された、いわゆる「パラフレーズ」ふうの音楽。ポーランドの3つの旋律の変奏を主体に進行する。ノクターンふうの序奏（ラルゴ・ノン・トロツポ）で開始。オーケストラの導入に続いて、ピアノが思い入れたっぷりのソロを奏でる。第1部（アンダンティーノ）は、ポーランド民謡《月は沈みぬ》を主題とし、ピアノが装飾的なソロを展開する。第2部（アレグレット）は、地元の民族主義的な作曲家クルピンスキの主題に基づく劇的で情熱的な部分。第3部（ヴィヴァーチェ）は、ポーランドの民族舞曲クラコヴィアクの主題に基づく華麗な音楽で、ピアノの技巧的な動きが際立つ。

リスト作曲：死の舞踏、サール番号126

ハンガリーに生まれ、ヨーロッパ各地で活躍した、ピアノの鬼才にして交響詩の創始者フランツリスト（1811年生まれ18

86年没)も、2つのピアノ協奏曲のほかにピアノと管弦楽のための作品をすくなく残している。その代表曲である本作は、1830年代後半から40年代に作曲され、1849年に一旦完成。その後も改訂が加えられ、1865年に初演された。ないようは、「怒りの日によるピアノと管弦楽のためのパラフレーズ」の副題通り、古い聖歌「怒りの日」に基づく変奏曲。1838年から39年にイタリアを旅行したリストが、中西部ピサの墓所 カンポサントにある壁画「死の勝利」に感銘を受けて作曲したともいわれている。ちなみに「怒りの日」は、ベルリオズの《幻想交響曲》第5楽章をはじめ、多くの作曲家が作品に取り入れている有名な旋律だ。

曲は、「怒りの日」の主題と5つの変奏で構成された、劇的な迫力をゆうする音楽。威圧的な和音連打に始まる主題提示部の後、3つの変奏が素早く進行し、多彩で長い第4、第5変奏を経て、華やかなコーダ(これを第6変奏とする見方もある)に至る。全体に緊迫感が支配。ピアノはグリッサンドが目立つ激烈なソロを縦横に奏で、華麗なカデンツァも複数回聞かせる。また同時に、遅い場面の静かで清らかな美感とのコントラストも注目点となる。

ビゼー作曲、「カルメン」組曲、キンボーイシイ版

フランスの天才作曲家ジョルジュビゼー(1838年生まれ1875年没)の歌劇《カルメン》(全4幕)に基づく管弦楽組曲。オペラ史上屈指の人気を誇る「カルメン」は、1875年3月パリで初演され、ビゼーはその3ヶ月後、病気で短い生涯を閉じた。フランスの作家メリメの小説に基づく物語は、スペインのセビリアが舞台。

純真な兵士 ドンホセ は、いいなづけ ミカエラ がいながら
ロマの女、カルメン と恋に落ちる。しかしカルメンは闘牛士
エスカミーリョ に心変わり。諦めきれないホセはカルメンを
殺してしまう。初演当時は拒否反応もあったが、スペインの香
りとめいせんりつ満載の情熱的な音楽は、やがて絶大な支持
を獲得した。

管弦楽組曲としても様々な組み合わせで演奏されているが、
今回は、20 世紀初頭のオーストリアの音楽学者フリッツ ホ
フマンの編曲・構成による2つの組曲の楽曲に基づく、キンボ
ーイシイ独自の版で演奏される。

これは、元の組曲やストーリーとは順番が異なる、音楽的效果
を重視した構成となり、以下のように演奏される。

闘牛士、

第1幕の前奏曲の前半部分にあたる華麗で快活な音楽。第2
幕でエスカミーリョが歌う「闘牛士の歌」の旋律が用いられ
る。

前奏曲、

第1幕の前奏曲の後半部分。結末を暗示した重く悲劇的な音
楽。

衛兵の交代、

第1幕で衛兵たちが続いて子どもたちが歌いながら行進する
場面の軽快な1曲。

アラゴネーズ、

第4幕へのかんそうきょく。打楽器が彩りを添える活気にみち
たスペイン舞曲。

ハバネラ、

第1幕でカルメンが奔放なロマ気質を歌う妖艶なアリア。ハバネラはキューバのハバナからスペインに伝わった舞曲で、独特の ふてんリズムが特徴的。

アルカラのりゅうきへい、

第2幕へのかんそうきよく。ファゴットが主旋律を奏でる素朴な管弦楽曲。アルカラはホセの駐屯地で、同曲は彼が捕えられたえいそうから出てくることを暗示する。

かんそうきよく、

第3幕へのかんそうきよく。ハープの分散和音に乗ってフルートが歌う、牧歌的で美しい逸品。

密輸入者の行進、

第3幕冒頭、寂しい山中を密輸入者の一団が歩みを進める場面の不気味な音楽。

闘牛士の歌、

第2幕でエスカミーリョが闘牛のいさましさを歌う有名なアリア。

セギディーリャ、

第1幕終盤でカルメンがホセに向かって歌う、スペインの民俗舞曲セギディーリャのリズムを用いた曲。この歌でカルメンに魅せられたホセは、彼女の逃走を手助けして逮捕される。

ロマの踊り、

第2幕最初にカルメンと仲間たちが歌う熱狂的な音楽。妖しく歌い踊りながら次第に激しさを増していく。

(曲目解説終わり)

出演者プロフィール

キンボーイシイ（指揮）

幼少期を日本で過ごし、ヴァイオリンを かざおか ゆう氏 に学ぶ。12 歳で渡欧、ウィーン市立音楽院にてヴァイオリンをワルター バリリ、ピアノをゲトルッド クーバセック各氏に師事。1986 年に渡米、ジュリアード音楽院にてドロシー ディレイ、ヒョー カン各氏のもとで研鑽を積むが、左手の故障(局所性ジストニア)のためヴァイオリンを断念、指揮に転向。オザワセイジなど各氏に指揮法を師事。1993 年、1995 年のタングルウッドおんがくさいに奨学生として参加、オザワセイジをはじめサイモン ラトル等に師事。1995 年、デンマークで開催されたニコライ マルコ国際指揮者コンクールで4位に入賞。オザワセイジ、サイモン ラトル、ベルナルド ハイティンクなど各氏の副指揮者を務めた。これまでにベルリン コミッシェ オーパー首席カペルマイスター、マクデブルグかけきじょう音楽総監督、大阪交響楽団首席客演指揮者、ドイツ・シュレースヴィヒ＝ホルシュタイン州立劇場音楽総監督などを歴任。日本においては、えぬきょう、ときょう、よみきょう、めいフィル、さっきょう、きゅうきょうなどを指揮。オペラでは、びわこホール・オペラビエンナーレ『フィガロの結婚』、関西二期会『まだんの射手』を指揮。2010 年、「第9回斎藤ひでおメモリアル基金賞」指揮者部門受賞。

ふくまこうたろう（ピアノ）

20 歳でクリーヴランド国際コンクール日本人初の優勝およびショパン賞受賞。パリ国立高等音楽院、ベルリン芸術大学にて学ぶ。これまでにカーネギーホール、リンカーンセンター、サントリーホールなどでのリサイタルの他、クリーヴランドかん、イスラエルフィル、NHK 交響楽団など著名オーケストラと多数共演。CDは多数録音しており、2024年9月に通算20 作めのCD「ショパンの思い出」(ナクソス)がにちおう同時発売。また、ラジオのパーソナリティや自身のYouTubeチャンネルでは、演奏動画、解説動画、ライブ配信などで幅広い世代から注目されている。多彩なレパートリーと表現りよく、コンセプトチュアルなプログラム、また五か国語を操り国内外で活躍中。第39 回日本ショパン協会賞、2024年スペインのアルベニスメダルを受賞。2024年、日本デビュー20周年を迎え、11月11日サントリーホールなど、全国じゅっかしよでの記念リサイタルツアーをおこなっている。

NHK交響楽団（管弦楽）

1926 年10月に 新交響楽団の名称で結成。1951年には日本放送協会(NHK)の支援を受けることとなり、NHK 交響楽団と改称。以来、こんにちに至るまで、世界一流の指揮者を次々と招聘、話題のソリストたちとも共演し、歴史的名演を残してきた。2013 年8月、ザルツブルクおんがくさいに はつしゅつえん、2020 年の春にはヨーロッパ主要9 都市で公演を行うなど、その活動ぶりと演奏は国際的にも高い評価を得ている。現在、年間54回の定期公演をはじめ、全国各地で約120 回のコンサートを行い、その演奏はNHKの放送を通じて国内外に広く紹介されている。また社会貢献活動として、

全国の学校を訪問する「NHKこども音楽クラブ」、被災地や病院に安らぎと元気を届ける室内楽コンサートなど、多彩な活動をおこなっている。

(出演者プロフィール終わり)